

花王・コミュニティミュージアム・プログラム 2008
(テーマ) 博物館・美術館等を拠点とした市民活動の応援

応募要項

応募受付期間 2008年5月16日(金)～5月30日(金)

(プログラムの趣旨)

このプログラムは、地域に根付いたミュージアム※1を拠点とした市民活動が活発化することを願い、2007年より実施しています。

ミュージアムには講座やグループの学習会に参加したり、ボランティアとしてその運営をサポートする人たちが集まります。また、グループで独自にコミュニティの自然や文化的遺産を調査し、その結果を発表する活動も見られます。さらには、充実した友の会の活動が、スタッフの活動と両輪になってミュージアムを支えているところもあります。地域のNPOが主体的に関わりながら、魅力ある活動を展開しているところもでてきています。

これらの活動を通じて、ミュージアムが活気に満ち、市民の活動が育つとともに、地域の文化が発展することを願い、ミュージアムを拠点とした様々な市民活動を花王は応援します。

特にこのプログラムでは、市民活動自体の助成とともに、助成対象団体相互の交流についても助成します。これらを通じて、各地の活動が促進されるとともに、知恵や経験を交換することにより、活動が一層広がることを目指しています。

また、2008年よりあらたに継続助成を開始します。

なお、本助成は特定非営利活動法人 市民社会創造ファンドの企画・運営協力のもとに行います。

2008年4月

花王株式会社

※1 このプログラムにおける「ミュージアム」とは、広い概念で捉え、人文系・自然系の博物館、美術館、動植物園、水族館、記念館、その他これらに準じる何らかの価値の共有と公開を目的とした場、およびそれらのネットワークとします。

(助成の仕組み)

1. 助成対象分野と活動内容

助成対象の分野は、生活・環境・文化・芸術など広く含むこととし、活動内容は、下記のようなミュージアムを拠点として行う市民活動とします。

- 1) 市民活動団体が中心になり、ミュージアムの協力を得ながら行う活動
- 2) 市民や市民的専門家が、ミュージアムの関係者と団体を組織して行う活動
- 3) ミュージアムが、市民や市民的専門家あるいは市民活動団体に呼びかけて行う活動
- 4) 市民活動として運営されているミュージアム自体の活動 など

2. 対象団体の要件

このプログラムは、下記の要件を満たす団体を対象とします。

ただし、団体の目的や活動の内容が、政治・宗教などに偏っている活動は除きます。

- ① ミュージアムを拠点として活動する団体
 - ② 営利を目的としない団体
 - ③ 日本国内を対象に活動する団体
 - ④ 設立や運営に企業が主体的に関わっていない団体
 - ⑤ 団体の活動実績は問わない
 - ⑥ 団体の法人格の有無や種類は問わない
 - ⑦ 継続助成の対象は本プログラムの 2007 年助成を受けた団体（1 年後の応募も可能）
- なお、助成対象となった団体は、交流会への出席を条件とします。

3. 助成の内容

- ① 助成総額 1,500 万円
- ② 助成件数 30 件程度（新規助成 20 件程度、継続助成 10 件程度）
- ③ 助成金の使途 助成金は A 活動助成金と B 交流助成金により構成されます。
A 活動助成金／活動を推進する上で必要な費用であれば、費目は問いません。（人件費や運営費も含むことができます。）
B 交流助成金／助成開始時および中間報告時の交流会に、各団体より 2 名が出席するための交通費・宿泊費。
- ④ 1 件あたりの助成額の上限 A 活動助成金 50 万円 + B 交流助成金（別途算定）
- ⑤ 助成期間 2008 年 10 月 1 日～2009 年 9 月 30 日（1 年間）
- ⑥ 継続助成 1 年目の助成の目的を達しつつあり、さらなる助成により発展が期待される活動に対しては、翌年の応募と選考により継続的な助成を行います。

4. 選考方法

選考は応募書類に基づく書類選考とし、専門家や実務経験者などにより構成する選考委員会において、以下の選考基準に基づいて行います。選考の過程で、追加資料の提出、団体責任者への問い合わせなどのご協力をお願いする場合があります。

(選考基準)

- ・参加性 多様な人々の参加する活動であるか

- ・独自性 新しい試みのある活動であるか
 - ・地域性 地域に根ざした活動であるか
 - ・社会性 社会に目を向けた活動であるか
 - ・公開性 その過程や成果が公開される活動であるか
 - ・発展性 継続して行われ発展が期待できる活動であるか
- (以下継続助成のみ対象)
- ・進捗状況 初年度の計画が着実に進行しているか
 - ・展開への期待 継続助成によってさらに新しい展開が期待できるか

(選考委員)

- 選考委員長 樺山 紘一 (東京大学 名誉教授・印刷博物館 館長)
- 選考委員 太下 義之 (三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
芸術・文化政策センター長)
- 片山 正夫 (財団法人セゾン文化財団 常務理事)
- 布谷 知夫 (滋賀県立琵琶湖博物館 上席総括学芸員)
- 嶋田 実名子 (花王株式会社 コーポレートコミュニケーション部門
社会貢献部長)

5. 選考結果

選考結果は、2008年8月31日までに、全ての応募者に文書で連絡します。

6. 助成決定後

助成対象となった団体には、下記の事項をご了承いただきます。

- ① 助成決定後の、団体名・代表者名・所在都道府県名・プロジェクト名・助成金額・活動概要の公表
- ② 花王株式会社と「覚書」を締結し、これに基づく活動の実施
- ③ 「完了報告書」の提出 (A4 5枚程度。公開の可能性あり。)
- ④ 花王株式会社の社会貢献活動に関する広報活動への協力
(新規助成対象)
- ⑤ 助成開始時の交流会 (半日) (2008年10月 東京都内・近郊) への出席、活動の自己紹介および他の活動団体との交流
- ⑥ 中間報告時の交流会 (2日間) (2009年5月頃 東京都内・近郊) への出席、活動経過の報告および他の団体との交流
(継続助成対象)
- ⑦ 助成開始時の交流会 (半日) (2008年11月頃 場所未定) への出席、初年度の活動の報告、助成2年目の計画の紹介、および他団体との交流

(助成金の支払)

助成金のうち、新規助成の活動助成金は2008年9月末日までに、継続助成は原則として2008年11月10日までに、また交流助成金は各交流会の終了後に支払います。

(応募方法)

1. 応募受付期間

2008年5月16日 (金) ~30日 (金) (当日消印有効)

2. 応募要項・応募用紙の入手方法

応募要項・応募用紙・応募用紙作成の手引きは、下記の市民社会創造ファンドのWebからダウンロードできます。

URL <http://www.civilfund.org/fund25.html>

郵送による入手をご希望の場合は、「応募要項・用紙の送付希望」と明記の上、送付先の郵便番号・住所・団体名・氏名・電話番号を記載して、ファックスにより次項の請求先までお申し込み下さい。

3. 応募書類の送付・問合せ

応募書類は、オリジナル書類とそのコピーの計2部を下記までご郵送下さい。(郵送のみ、持参不可)。なお、ご送付いただいた応募書類は複写して使用しますので、ホチキス止め、両面コピー、2つ折りはしないでください。また、お送りいただいた書類はお返しできませんので、コピーをとっていただくなどご注意ください。

(応募要項・用紙の請求、および応募用紙の送付・問合せ先)

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

「花王・コミュニティミュージアム・プログラム 2008」事務局 (担当：神山)

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 267-B

電話：03-3510-1221 Fax:03-3510-1222

(個人情報の取り扱いについて)

当プログラムへの応募を通じて皆様からお預かりする個人情報は厳重に取り扱い、花王株式会社と特定非営利活動法人市民社会創造ファンドが当プログラムの運営および関連する目的にのみ使用します。

助成対象となった団体については団体名・代表者名・所在都道府県名・プロジェクト名・助成金額・活動概要を公表させていただきます。

その他、当該業務に必要な範囲で一部業務を外部委託する場合を除き、個人情報を応募者の承諾なく第三者に提供することはいたしません。

- ・花王株式会社の個人情報の取り扱いについて：

<http://www.kao.co.jp/rule/rule2.html>

- ・特定非営利活動法人 市民社会創造ファンドの個人情報の取り扱いについて：

<http://www.civilfund.org/fund13.html>

(主催・協力団体について)



花王株式会社 <http://www.kao.co.jp/corp/citizenship/>

花王は、豊かな社会の実現とその持続に貢献するために、「次世代を育む環境づくりと人づくり」をテーマに社会貢献活動に取り組んでいます。重点分野は<環境><教育><芸術文化>です。



特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド <http://www.civilfund.org>

市民社会創造ファンドは、個人・企業・団体などからの多様な寄付や助成金の受け皿となり、個別のNPOが行う特定のテーマの活動に対して助成を行う、専門的なコンサルテーション機能を備えた資金仲介組織です。